

七飯町地域公共交通計画の方向性（案） 計画予定期間：5年間

資料5

■地域及び公共交通の現状と課題

	現状	問題点	課題
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化の進行 とりわけ大沼地区の高齢化が著しい 本町地区及び大中山地区に人口が集中 幹線道路から離れた箇所にも居住地が広がっている 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化により運転を控え、外出機会が減少していることが想定される 傾斜地が多く、JR駅やバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便 	<ul style="list-style-type: none"> 七飯町で暮らし続けるための、利用者ニーズに即した公共交通網の形成が必要
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> 生活関連施設（商業・医療・公共施設など）の多くは、本町地区及び大中山地区に集積 町内の生活関連施設と接続しているバス路線数が限定的 	<ul style="list-style-type: none"> 地域によっては、自動車やタクシーなどの移動手段を利用しないと施設までの移動が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の特性を考慮した、利便性の高い公共交通の導入が必要
町内交通	<ul style="list-style-type: none"> JR駅が8駅存在（令和3年12月時点） バス路線のほとんどが幹線道路を中心とした運行 JRや路線バスを利用できる環境下にある町民は約7割 大沼地区においては、交通事業者が独自に本町地区方面への移動支援を実施 町内ハイヤー事業者が独自に高齢者割引などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地形的にJR駅やバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く存在 町内移動におけるJR及び路線バスの活用は難しい可能性がある 今後の事業継続のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> 町民が公共交通を使おうと思う意識醸成、利用頻度向上のための施策が必要 交通事業者の事業存続も含めた行政支援のあり方の検討が必要
広域交通	<ul style="list-style-type: none"> JR及びバス路線ともに通勤・通学時間帯の利用が多いことが想定 	<ul style="list-style-type: none"> 日中時間帯の利用が少ないことが想定 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通であるJRや路線バスとの接続性を確保した町内交通の整備が必要
経費	<ul style="list-style-type: none"> 交通支援策に要している経費は、令和2年度実績で約6,400万円 	<ul style="list-style-type: none"> 全町民向けの施策は、路線バスの維持のための負担金に限られている 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の資源も活用し効率的に公共交通網を形成することが必要

■公共交通に関する各種調査結果から見えるニーズと課題

	ニーズ	課題
アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回答者の運転意向は約4割と、今後高齢者が増加する中で、事故のリスクが高まることが懸念 通学時の移動実態として、夏期・冬期ともに「家族の送迎」が最も多い 買い物先及び通院先において、七飯町内だけでなく、函館市も生活圏として確立 買い物及び通院時の移動実態として夏期では自動車が多いものの、冬期になると公共交通への転換がみられる 「自宅近辺から目的地の近くまで行くことができる」、「利用したい時間帯に運行している」交通を望む割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車に依存しなくてもよい公共交通網の形成が必要 季節や居住地区に関係なく、送迎に頼らずとも通学ができる町内移動のあり方の検討が必要 広域交通による近隣自治体へのアクセスの確保・維持 バス停や駅といった交通結節点から自宅までの移動手段（ラストマイル交通）の検討が必要
	<ul style="list-style-type: none"> 「観光施設情報がより入手しやすくなること」や「観光施設までの案内表示」、「町内観光地間を結ぶ交通手段」などが求められている 	<ul style="list-style-type: none"> 施設情報とあわせて移動手段に係る情報提供体制の強化 既存交通資源を活用した周遊観光手段の拡充

基本方針

住民・事業者・行政が一体となって育てる、より使いやすく、持続可能な公共交通網の形成

方向性①町内交通資源を活用した公共交通網の形成

次回協議会で具体的な検討案を示します。

方向性②七飯町と生活圏自治体を結ぶ広域的な公共交通の確保・維持

次回協議会で具体的な検討案を示します。

方向性③公共交通の積極的な利用を促す施策・事業の展開

次回協議会で具体的な検討案を示します。

方向性④持続的な公共交通の確保・維持に向けた取組の継続

次回協議会で具体的な検討案を示します。